

いじめに関する校内研修 II

1 研修のねらい

いじめ問題の指導をする際に、解決を急ぐあまり表面的な事象に目を奪われて対応策を考えることがある。この研修では、事例検討を通して、いじめへの対応について実践力を高める。

2 事前準備

- (1) グループを作り、参加者に伝える。(グループ編成は、経験年齢や校務分掌等を考慮し、様々な視点で協議できるようにする。)
- (2) グループワークの司会者と発表者を1名ずつ決めておく。
- (3) 配布資料及び振り返りシートを印刷する。
- (4) グループワークに必要なポストイット、模造紙、マジック等を用意する。
- (5) 「静岡県いじめ対応マニュアル」を全職員分用意する。

3 活動の流れ (研修時間 60分)

| 過程 | 活動の内容 | 留意点 | 時間 |
|----|--|---|-----|
| 導入 | ○アイスブレイク ・積み木自己紹介を行う。 | ・名前の次に嫌いなものを付け加える。 | 3分 |
| | ○本時の活動の流れ ・本時の活動の流れについて説明する。 | ・簡潔に説明する。 | 1分 |
| 展開 | ○「A男の行動」 資料1 ・資料1を配布し、資料からA男の行動の背景について、根拠も付け加えて考え、ワークシートに記入する。 ・グループで考えを発表し合う。 ・グループでA男の行動の背景を確かめるために必要な情報は何かを話し合う。 | ・発達障害や虐待、人間関係など ・背景について広く意見を求める。まとめない。 ・必要な情報を絞り込む。 | 15分 |
| | ○「A男の情報」 ・ファシリテータに、A男について質問する。 ・ファシリテータは資料2をもとに回答する。 ※ファシリテータは、事前に生徒指導主任・主事をお願いする。 | ・一問一答で行うことを、予め伝える。 ・質問が十分でなかった場合は、資料2の要点を伝えたり、配布したりしてよい。 | 8分 |
| | ○「A男への対応」 ・A男の情報をもとに、A男への対応策を話し合う。 ※「いつ (いつまで)」「誰が」「誰に」 | ・時間に余裕があれば、KJ法を用いてもよい。 ・各学校のフレームで考察 | 13分 |

| | | | |
|----|---|---|-----|
| | <p>「何を」「どのように」を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3「A男の追加情報」を対応策へ反映する。 ・グループで話し合った内容をホワイトボードにまとめる。 ・グループごとに対応策を発表する。 ・資料3の違いについて説明する。 | <p>してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3-1と資料3-2をバランスよく配布する。 ・模造紙にまとめてもよい。 ・資料3により、対応策に違いがあることを確認する。 ・いじめへの対応は、表れている行動だけでは十分でないことに気づかせる。 | |
| 終末 | <p>○活動振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について振り返り、感想をワークシートにまとめる。 ・まとめた感想を発表する。 ・スクールカウンセラーから本時の活動のポイントを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・価値の共有が十分にできている場合は、グループワークとしてよい。 | 10分 |

A男の行動 (資料1)

○9月17日(火)

A男は中学1年生。6時間目国語の授業中にA男は、腹痛を訴え、保健室に行った。熱はなかったが、A男の顔色が悪かったため、養護教諭は早退を勧めた。家庭連絡をしようとする、A男は、「もう大丈夫だから教室に戻ります」と言って保健室を出て行ってしまった。

○9月18日(水)

6時間目の授業が始まる前に、数学科担当のT教諭に「おなかが痛いので保健室に行きます。」と申し出があった。しかし、A男は保健室には行かず、部室の周りをうろうろしていた。たまたま通りかかった学級担任がA男を見つけて問い詰めると、「昨日、教室のロッカーからグローブがなくなってしまったので、探している。」ということだった。学級担任は、放課後探すように指示をして教室へ向かわせた。

その日の清掃の時間、3年生が「側溝にグローブが落ちていました。」と言って、「死」とマジックで書かれたA男のグローブを職員室へ持ってきた。

放課後、学級担任がグローブを見せると、A男は「家の人には言わないで」と懇願した。何かあったのか尋ねると、同級生のB男とC男に無視されていることや2年のG男から「死ね」「学校へ来るな」などと言われていることを話した。

A男の情報 (資料2)

○性格・行動 (学級担任から)

- ・学級ではあまり目立たない。与えられた仕事はまじめに行う。
- ・積極的に自分から他人に話すタイプではない。
- ・時折、何かに集中していて人の話を聞いていないことがある。
- ・級友と争うようなことはない。友人は少ない。

○学習

- ・保健体育の実技は得意。定期テストの成績は中程度。
- ・数学の点数は、他教科に比べて低く、下降している。

○友人

- ・B男 (1年1組) : A男の幼馴染。登下校も一緒にしている。野球部。A男に対しては、命令口調が多い。G男の命令には従う。
- ・C男 (1年2組) : A男とは別の小学校から入学してきた。野球部に所属し、同じ学級のため、一緒に過ごしていることが多い。A男と性格・行動は似ている。G男の命令には逆らえない。

○部活動

- ・野球部 部員1年生15人、2年生9人、地区では強豪校、厳しい指導をしている。
- ・A男は、3年生が引退した後、レギュラーとなる。2番ライト。
- ・夏休みまで、2年生のG男とライトのポジションを争っていた。
- ・G男は、最近喫煙で指導され、部活動停止中である。

○家族

- ・A男が4歳の時に両親が離婚。原因は、不明。父親は、隣町に住んでいる。
- ・現在の父親とは、小学校2年生の時に再婚した。義父は、42歳 会社員。
- ・母親 S子 35歳 仕事 スーパーのレジ係 午前9時から午後5時の勤務。2月から、週3回程度午後7時から午前0時まで、居酒屋に勤めるようになった。土・日曜日の休みは少ない。
- ・母親は、野球部父母会の活動には欠席が多い。義父は、参加しない。
- ・兄弟はいない。義父、母、A男の3人家族。

○学校 ※「自校」の設定で行う場合は、自校の現状

- ・中心市街地に隣接する新興住宅地区の学校 ふじのくに中学校
- ・1学年4クラス 全校生徒数 400人 教職員数 30人
- ・重篤な生徒指導上の問題行動はないが、2年生に服装や髪型などの校則違反が多く見られる。

○学級

- ・全体的に落ち着いて生活ができる雰囲気である。
- ・集団を引っ張っていくような強いリーダーはいない。
- ・学級担任は、30代男性。生徒の自主性を大切にする学級経営を試みている。
- ・挨拶など、指導後はしっかりと行うが長続きはしない雰囲気がある。

A男の追加情報 (資料3-1)

4歳の時に両親が離婚してから、A男は時折「あんたがいるから…」と母親から暴力を受けていた。新しい父親は優しく、結婚後は母親からの暴力もなくなった。次第にA男は義父に懐いていった。しかし、母親が夜の仕事を始めたころから、義父は母親の浮気を疑い、時に母親に暴力を振るうようになった。そのような時期に、実父から入学祝いのグローブが届いた。

A男の追加情報 (資料3-2)

G男は母子家庭で育った。父親とは小学5年の時、交通事故で死別した。昨年、母親から再婚したいと考えている相手を紹介された。賛成ではなかったが、母親のためと、とりあえず納得した。しかし、母親は休日に家を空ける日が多くなり、G男の不満は溜まっていった。ある日、母親の再婚相手から、自分はA男の実父である事を聞かされる。

いじめに関する校内研修Ⅱ ワークシート

学校名

氏名

A男の行動

背景

根拠

必要な情報

A男の情報

A男への対応

いつ

誰が

誰に

何を

どのように

振り返り

スクールカウンセラーによるいじめに関する校内研修Ⅱ (ファシリテーター用シナリオ)

| 過程 | 活動の内容 | 留意点 | 時間 |
|----|--|---|-----|
| 導入 | <p>○アイスブレイク 「積み木自己紹介」</p> <p>「始めに、積み木自己紹介を行います。ジャンケンで勝った人をスタートにします。「〇〇です」と最初の人が言ったら、隣の方は「〇〇さんの隣の△△です」、その隣の人は「〇〇さんのとなりの△△さんの隣の◇◇です」…と自己紹介を積み上げます。」</p> <p>「一通り終わりました。次に「☆☆が嫌いな〇〇です」というように嫌いなものをくけ加えて、自己紹介を積み上げてください。どうぞ。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数が多過ぎる場合は、他のエクササイズを行う。 ・校内研修Ⅰの「これはいじめですか？」に替えてもよい。 | 3分 |
| | <p>○本時の活動の説明</p> <p>「本時の活動は、ある生徒、A男の事例の対応策を考えていきます。これまでの指導の経験を対応策に生かしてください。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に説明する。 | 1分 |
| 展開 | <p>○「A男の行動」 資料1</p> <p>「資料1『A男の行動』を見てください。この資料1から、A男の行動の背景としてどのようなことが考えられるでしょうか。その根拠も合わせて、ワークシートに記入してください。」</p> <p>(ワークシートに記入)</p> <p>「では、今考えたことをグループの中で発表してください。今は、可能性のある事柄全てを発表してください。」</p> <p>(グループ内発表)</p> <p>「各グループ内で出された意見を確認するためには、どのような情報が必要でしょうか。グループで出された意見を確認する情報は何かを話し合ってください。話し合いの後、ファシリテータの〇〇先生に質問する時間を取ります。質問時間は時間を限らせていただきますので、簡潔に効率よく質問できるように準備しておいてください。質問と回答は一問一答形式で行います。では、グループでの話し合いをしてください。」</p> <p>(話し合い)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・作業が進まない場合は、発達障害や虐待、人間関係などの視点を提示する。 ・司会者、記録者を確認する。 ・背景について広く意見を求める。ここでは、まとめない。 ・発表された意見を確認する情報は何かを話し合う。 ・見通しがついていないグループには、一問一答形式について説明する。 | 15分 |
| | <p>○「A男の情報」 資料2</p> <p>「それでは、各グループでまとめた意見を質問してください。質問は、一問一答式です。長い質問には回答しませんので、御了解ください。」</p> <p>(質問・回答)</p> <p>※ファシリテータは、質問されていないことまで話さないように注意する。</p> <p>※最初はグループ順で、質問が尽きたら自由に行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一問一答式が理解されていない場合は、例示する。 「〇〇は、女性ですか。」 「〇〇は、男性です。」 ・質問が十分でなかった場合は、資料2の要点を伝えたり、配布したりする。 | 8分 |

| | | | |
|----|--|--|-----|
| | <p>○「A男への対応」</p> <p>「質問で確認できた内容をもとに、A男への対応策を考えます。対応策は、具体的に考えてください。『いつ(いつまで)』『誰が』『誰に』『何を』『どのように』を明確にしてください。」 (グループで対応策の検討)</p> <p>「ここで、新たな情報を渡しますので、その情報を加えて対応策を考えてください。」 (グループで対応策の検討)</p> <p>「グループで話し合った内容をホワイトボードに記入してください。」</p> <p>「それでは、各グループで話し合った対応策について発表してもらいます。順番に発表してください。」 (発表)</p> <p>「グループの対応策は大きく分けて2つに分かれるようです。では、途中で配布した資料3『A男の追加情報』を読んでみます。」 (読み上げ)</p> <p>「資料3は、被害者側、加害者側、それぞれが深く抱えている学校生活からは見えない情報でした。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、KJ法を用いてもよい。 ・「自校」の設定の場合は、各学校の現状で考察してもよい。 ・資料3「A男の追加情報」3-1と3-2をバランスよく配布する。 ・模造紙にまとめてもよい。 ・資料3により、対応策に違いがあることを確認する。 ・誰かに読んでもらってもよい。 ・いじめへの対応は、表れている行動だけでは十分でないことに気づかせる。 | 13分 |
| 終末 | <p>○本時の活動の振り返り</p> <p>「では、本時の活動を振り返っていただきます。ワークシートに、本時の活動を通して、気づいたことや感想などを記入してください。」</p> <p>「それでは、発表してください。」</p> <p>「いじめの背景には様々な事柄が複雑に絡み合っていることが多々あります。いじめは決して許されない行為ですので、そのことについて指導しなければなりません。本事例のように学校の中だけの表れだけでは捉えられない背景があることも多く、いじめが再発、あるいはエスカレートしていく可能性も捨て切れません。資料1のように、表れた行動に対する指導を短期的な指導とするならば、資料3のように、解決まで時間を要する指導を長期的な指導と捉えることができます。いじめはいけないことだと、どの子ども言うと思います。しかし、いじめは起きています。この現実、表面的な指導だけでは対応することはできません。子どもの心の奥底にある背景をしっかりと見取り、対応することが重要です。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・価値の共有が十分にできている場合は、グループワークとしてもよい。 ・挙手がなければ、指名する。(指名する方を机間巡視で確認しておく。) | 10分 |